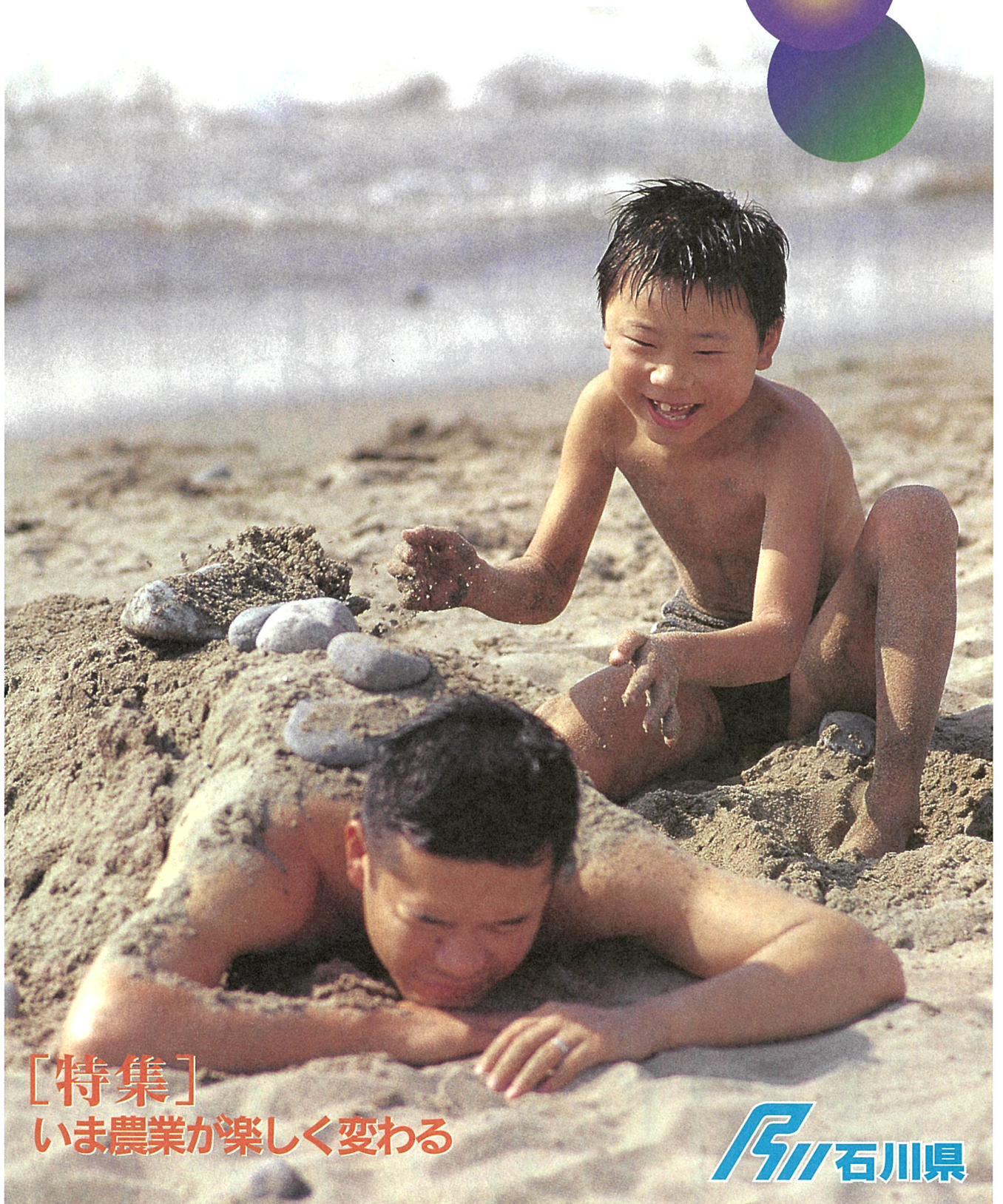


ほっと石川

1998
夏季号

県民と県政のネットワーク誌



【特集】

いま農業が楽しく変わる

石川県

毎月第3日曜日は「家庭の日」です! — 家族とのふれあいを大切にしましょう

「特集」いま農業が楽しく変わる

石川ブランドの 若き担い手たちが 語る

皆さんは「農業」というと、どんなイメージをお持ちになりますか。「キツイ」仕事のように誤解される方もいらっしゃるかもしれませんが、現在は機械化や省力化が進んでいて、意外と自由の多い魅力的な仕事になっていきます。今回の特集では、今後の石川の農業を支える若い担い手の代表三人の方に、谷本知事が農業に掛ける夢や課題について伺いました。石川ならではの安全で新鮮な農産物を提供してくれる彼らに、エールを送りたいと思います。



写真提供/北國新聞社、JA石川経済連
岩田 修デザイン事務所、金沢市



【西村浩一さん】



【米林格栄さん】



【濱田友紀さん】

「若者や女性が夢を持てる農業に」

女性の感性を生かした 新しい農業の展開を模索

知事/濱田さんは東京から農家に嫁いでこられたそうですが、実際に農業に携わってみていかがですか。

濱田/農業がどういうものか、先入観のない白紙の状態で嫁いできました。特に大きな苦労は感じていません。逆に、農業の方が自由な部分が多くて、残業がないとか仕事を自分で計画していけるといった会社勤めにはないメリットを感じています。

知事/とてもいきいきとした表情をされていますよね。農業の楽しさが伝わってきます。西村/うちの産地では、大型機械を使ってサツマイモを掘っています。最近はいろんな農作物の栽培や収穫に機械が導入され「しんどい」と言われた作業はほとんどなくなりまし。農業は楽しくゆとりを持ってできる仕事になってきています。女性の皆さんにもどんどん入ってきてほしいですね。

米林/私も、女性ならではの消費者感覚を生産の場で生かしてもらえたらと思います。

知事/県でも機械化を推進し、農業に対するかつての重労働のイメージをなくそうと思っています。重労働がなくなれば、女性も大いに活躍できる職業になるわけですから。同時に、農家の女性の方にも、農業に積極的に参画していただくために、各種学習会や能力開発講座の開催、農村女性グループの起業などを支援する「いしかわの農山漁村女性をつらつビジョン推進事業」を進めています。今後、女性の感性を生かした農業経営や地域活動の展開に力を入れていく考えです。

優れた生産技術と経営基盤で 産地間競争に挑む

米林/男女に限らず経営の勉強をしていく必要がありますね。

濱田/農業は伝統的な家族経営の良さもありますが、私のところでは、人を雇って会社経営的な要素を伸ばしていく夢を持っています。他人がいることで、甘えない効果的な農業経営が可能だと思うからです。

知事/日本だけでなく世界レベルでの産地間競争に勝ち抜くには、生産技術にも優れたしつかりとした組織基盤も求められますね。

西村/うちの産地は、出荷時の規格を統一したり、課題があると生産組合の中で協議したり分担するなど、生産組織がしつかりしているなど感じます。若い人が、親の跡継ぎとして就農もしており、今後さらにこの組織の強化を図っていききたいと思っています。



【谷本石川県知事】

●出席者の横顔

【西村 浩一さん/31歳】
金沢市粟崎町在住。小玉スイカ、サツマイモ、トマトを栽培。石川県農業青年グループ連絡協議会会長。8月に本県で開催される第10回全国農業青年交換大会では、実行委員長を務めます。妻と生後6カ月の娘さん、ご両親などの8人家族。

【米林 格栄さん/27歳】
金沢市久安在住。トマトや、石川の伝統野菜である太キユウリ、金時草（キンジソウ）を栽培。石川県農業青年グループ連絡協議会のグループ員で、全国農業青年交換大会運営委員長。農地のある高松町へ通勤する毎日とかご両親、お祖父さんの4人家族。

【濱田 友紀さん/28歳】
羽咋市尾長町在住。水稲、メロン、花苗を栽培。東京都出身。平成4年に結婚して羽咋へ。農業は全くの初心者だったそうですが、消費者ニーズをくんだ米の直売を始めるなど、県内農業に新風を吹き込んでいます。夫と5歳の娘さん、ご両親などの7人家族。

Contents [目次]

1998 夏季号

●特集	2
いま農業が楽しく変わる	
石川の旬を召し上げ	6
●知事の窓	8
●ほほえみ	8
ふれあい看護体験	
●いしかわ夢づくりレター	9
●学びらんど	11
遠隔学習システム	
●施設ガイド	12
石川県埋蔵文化財センター	
●市町村トピックス	14
中島町	14
根上町	14
田鶴浜町	15

●アンケート調査

県民の農業に対するイメージは

石川産の農産物であなたが県外の人に自慢できるものは何ですか？（複数回答）

- 1位：米（302人）
- 2位：レンコン（201人）
- 3位：サツマイモ（169人）

スイカ、丸イモと答えた人も多かった。

食の安全性に高まる関心

消費者の立場から、これからの農業に何を期待しますか？

「もっとたくさん無農薬野菜を食べたい」

「より安全でおいしいもの」

「伝統野菜を絶やさず」

「生産性・品質の向上及び価格の安定、担い手の育成」

（石川県農業青年グループ連絡協議会が昨年10月、農林漁業まつりで実施したアンケート調査から。有効回答者数465人）

●インフォメーション

第10回全国農業青年交換大会inいしかわ'98

大会スローガン

拓け！ 育め！ 農業の夢
石川から世界へひろげよう
ネットワーク

会期／8月26日（水）～28日（金）

会場／県産業展示館、県地場産業振興センター、
県農業総合研究センター、
石川厚生年金会館ほか、県内一円

内容／県内外から2千人の農業青年や海外農業研修生らが参加して、農業技術に関する情報を交換しながら、交流と友情を深め、農業者としての自信と誇りを培う。

お問い合わせ

第10回全国農業青年交換大会実行委員会事務局

☎ 076(223)9351

※併催行事

8月25日（火）農業青年国際シンポジウム



安全性や消費者との信頼関係が販路を開くカギに

濱田／お米の販売を促進する県の施策は何かあるのでしょうか。

知事／うまくて品質のよい米づくり、低コスト生産、販路確保の三つをポイントに進めています。しかし、米あまりの状況ですから、何よりも「売れる米づくり」が大切です。このため、消費者ニーズを質・量の面からも把握しながら、市場に対応した米づくりを強力に推進していきたいと思っています。そういえば濱田さんは、生産した米を東京や大阪の消費者に直接、販売されているそうですね。

濱田／はい。出荷量の約三分の一を、消費者への直販に充てています。直販は四年前、東京の親戚や友人を対象に始めたものが口コミで広がり、現在は県内のほか東京、大阪、九州、北海道の消費者にも送るようになりました。

知事／最近の消費者は、無農薬栽培や有機農業への関心が高く、生産者と消費者との



県農業総合研究センターのふれあいセンターで

[安心して食べられるものを笑顔とともに届けたい]



[特集]

いま農業が
楽しく変わる

米林／次の世代につなげていくためには、農地の整備拡大やコスト管理といった経営面での意識改革や、付加価値の高い農産物の生産がより重要になってきます。ただ、若い農業者が減少し、寂しい思いをしています。知事／確かにそうです。そのため、県では農業経験の全くない方でもチャレンジできるように、就農準備校「いしかわアグリ塾」を設け、長期・短期の研修を通して営農技術や経営管理手法を学んでもらっています。財団法人石川21世紀農業育成機構でも、高校生が夏休みを利用して農業の実務を体験する「緑の学園」を開催しています。これらの事業を通して、皆さんのような有能な農業青年、後継者が育つことを願っています。

石川ブランドの育成と継承、拡大が課題

知事／皆さんそれぞれ、地域色や個性を生かして農産物を生産されているようですが、いま一番の課題は何ですか。

西村／私は両親や多くの先輩たちから引き継いだ「五郎島」という産地を、どう伸ばしていくかを課題にしています。ブランドの継承と、より一層の拡大ですね。

知事／五郎島と言えばサツマイモやスイカがすぐに思い浮かびますよね。本県では、九年度から石川ブランド園芸産地育成事業をスタートし、二十一種類の重点振興品目を指定して、共同利用機械の導入や施設整備を計画的に進めています。米林さんは伝統野菜を手掛けているようですがいかがですか。

生産者から消費者へのアピールがもっと必要

米林／私は、やはり石川県でしか作れない在来品種の野菜にこだわっていきなさいと思います。今はいろんな農産物が小売店に並ぶ時代ですので、消費者に対してもっと伝統野菜のPRをしていく必要を感じています。生産者が調理の仕方まで含めた売り込みをしないと、なかなか伝統野菜の浸透は図れません。

知事／地場農産物の販路拡大を図るため、県では、観光客が宿泊する県内の温泉旅館、ホテル、料亭を対象に、業務用食材への県産農産物の利用拡大や、観光客にも石川ブランドの魅力がPRされています。

米林／石川の伝統野菜のおいしさを、いろんな方に知っていただけたらうれしいですね。

密接な交流や信頼関係が、新しい販路開拓のカギとなりそうですね。

濱田／確かに、食べ物の安全性に対する消費者の関心はとも強いです。直販ですと、作り手である私たち生産者の顔をお客様にじかに知っていただけます。直販が増えた理由も、「あの人が作っているお米なら安心」というふうに、信頼が得られたからだと思います。

八月、全国農業青年交換大会を県内で開催

知事／産地や銘柄だけでなく、生産者の顔や名前も全国のブランドになりえるわけですね。八月には全国の農業青年が集まって交流と友情を深める全国農業青年交換大会が石川県内で開かれますね。

西村／はい。大会では、全国の仲間や海外からの農業研修生が一堂に会して、フォーラムや技術交流を行い、知識や技術を相互に交換しますが、皆が楽しみ喜んでもらえる大会にしたいです。

米林／いろんな面でヒントを得られる大会です。県境を越えた交流のきっかけにしたいと思っています。

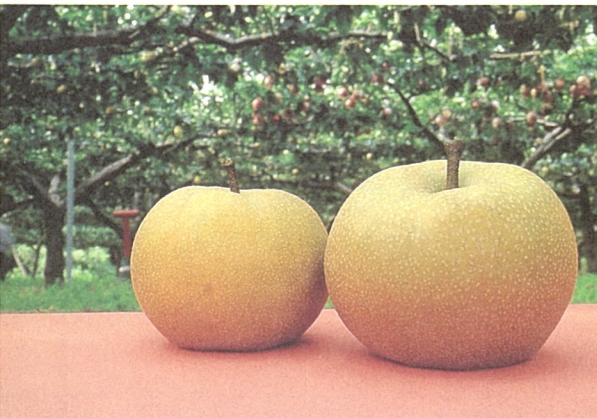
知事／大会を通じて石川の農業を全国にアピールして下さい。皆さんをはじめとする次代の石川農業を担う青年たちが、技術と情報を互いに交換し、自信と誇りを持ち、地域のリーダーとしてさらに活躍してくれることを期待しています。皆さん、本日はお忙しいところありがとうございました。

西村、米林、濱田／ありがとうございました。



【トマト】▶

県産のトマトは色あいや、形の良さはもとより、糖度が高く、ビタミン類や鉄分が豊富に含まれています。近年、能登地区でミニトマトの栽培も盛んになってきています。
生産地/小松市・松任市・金沢市・加賀市・内浦町・輪島市・門前町・穴水町
旬/5月~11月



▲【ナシ】

ナシの旬は、梅雨明け頃から出荷される「新水」に始まり、「幸水」「豊水」「二十世紀」と続いて、10月の「新高」まで約2ヵ月間。
生産地/加賀市・金沢市・松任市・河北潟干拓地
旬/8月上旬~10月中旬



▲【ナス】

ナスは艶やかな青みがかった紫色で、全体に張りがあり、へたのトゲが痛いくらい尖った物が新鮮です。
生産地/金沢市・小松市・志賀町
旬/7月~10月

▼【ブドウ】

粒の表面をおおっている白い粉状のものは、ブドウ自らが出す殺菌のための物質です。これは新鮮なブドウの目印といえます。
生産地/高松町・志雄町・金沢市・加賀市
旬/7月~8月



【カボチャ】▶

ビタミンCやカロチンなどの栄養素が豊富に含まれているカボチャ。薄味でじっくり炊いた煮物はまさに絶品。
生産地/珠洲市・富来町・内浦町・穴水町・門前町・能都町・中島町・鹿島町・田鶴浜町・高松町・津幡町
旬/7月上中旬、8月上中旬、11月



読者プレゼント 石川の旬を召し上がれ

クイズの正解者の中から50名の方に石川産の果物をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

Q1/石川の伝統野菜でないものはどれですか？

- ①金時草 ②太キュウリ ③レタス

Q2/ブドウから作られるお酒はどれですか？

- ①ワイン ②ウォッカ ③ビール

応募方法/ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記してご応募下さい。

あて先/〒920-8580 (住所不要)
石川県広報広聴室「ほっと石川・読者プレゼント」係
締め切り/平成10年9月15日(当日消印有効)
発表/商品の発送をもって代えさせていただきます。
(発送は9月下旬の予定です)

お問い合わせ/石川県農林水産部農産課

☎076(223)9227
FAX076(223)9491

石川の旬を召し上がれ

食卓をより豊かに楽しくしてくれる石川の旬の農産物。自然の恵みを存分に受けた野菜や果物には多くの栄養素が含まれていて、しかもとっても美味。たくさん食べて明日の活力にしてください。



▲【レンコン】

栄養価がとても高く、「田の肉」とも呼ばれています。鮮度が命で、掘りたてが最もおいしい。
生産地/金沢市・河北潟干拓地
旬/9月~3月

【イチジク】▶

たくさんの酵素を含むことから、近年健康食品として人気が高まってきており、特に石川産のものは甘くて人気。
生産地/押水町・川北町
旬/7月下旬~11月中旬



◀【金時草 (キンジソウ)】

ビタミンA、鉄分、カルシウム等、多くの栄養素を含んだ金時草は、おひたしや酢の物にしてどうぞ。
生産地/金沢市
旬/6月~11月

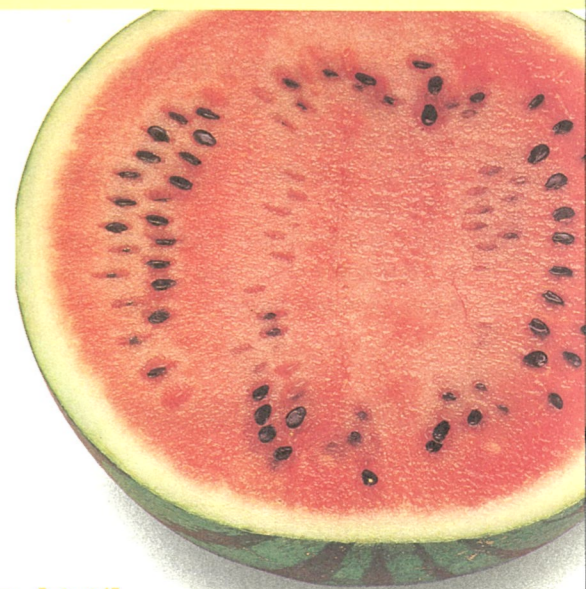
▼【千石豆 (センゴクマメ)】

加賀伝統野菜のひとつ。青くて強い独特の香りを持つ千石豆は、ナスやそうめんと一緒に炊きあわせると、おいしい夏のお惣菜になります。
生産地/小松市・金沢市
旬/6月~9月



▼【スイカ】

県産のスイカは糖度が高く、全国的にも人気です。砂丘地や河北潟干拓地スイカは6月から、能登地区の丘陵地産の赤土スイカは7月中旬から8月末、加賀から能登へとスイカ前線が北上していきます。
生産地/金沢市・羽咋市・河北潟干拓地・宇ノ気町・志賀町・穴水町・珠洲市・加賀市・内浦町
旬/6月~8月



▼【ネギ】

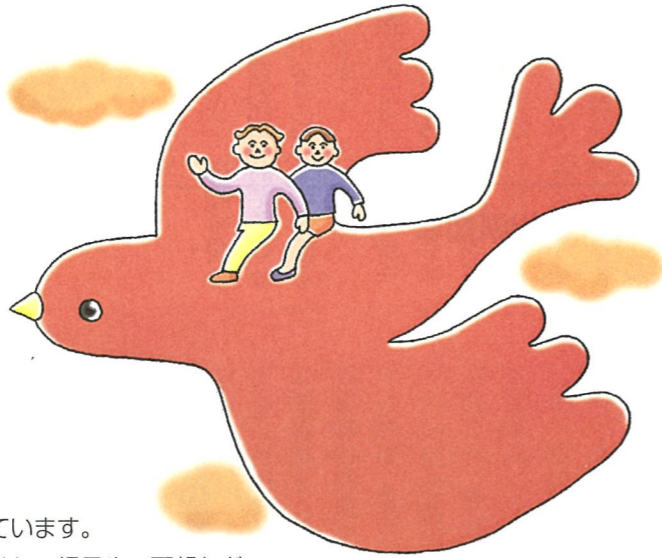
白根部分がやわらかく、味が良い県産のネギは、鍋や煮物、みそ汁に欠かせません。身体を温める薬効もあります。
生産地/金沢市・小松市・七尾市・鹿島郡
旬/8月~12月



「いしかわ夢づくりレター」

あなたの声を県政に届けませんか

あなたの「夢」聞かせて...



開かれた県政をめざす石川県では、
広く皆さまからのご意見をお待ちしています。
希望に満ちた石川の未来づくりに向けたご提言やご要望など、
皆さんが描かれる「夢」をぜひお聞かせください。

料金受取人私
金沢中央局 認
9212
差出有効期間
平成11年3月
31日まで
●切手不要

〒
金沢市広坂2丁目1番1号
石川県広報聴室
「いしかわ夢づくりレター」係行

〒
石川県
〒
〒

TEL ()
TEL ()

年齢 性別 男・女 職業

9 2 0 8 7 6 0

景気がなかなか良くなりませんね。皆さんからは毎日のように、「知事さん、何とかならんがかいね」との切実な声をいただいています。県の六月補正予算でも、景気浮揚を一番の柱に据えて、さまざまな施策を打ち出しました。私としても、一日も早い回復を願うばかりです。

さて、経済危機という言葉さえ聞かれる昨今ですが、「危機」という文字は、危険と機会という意味の二つの漢字から成り立っています。世界的な競争時代を迎え、経営環境は一段と厳しさを増すことが予想されます。半面、ほかにはない独自の技術やサービスが付加価値となつて、大きなビジネスチャンスをつかむ可能性を秘めています。戦後の日本を振り返ってみても、オ



危機を「機会」に変えて 頑張りましょう

イルシヨックや円高などさまざまな危機に直面する中から、それまでにない新しい商品や発想が生まれ、発展の原動力になりました。

人間、寒風には首を引つ込めたくなるものです。慣行や前例をなぞった方が安心だし、居心地がいいかもしれません。しかし、それを許してくれないのが危機の怖さです。「谷深ければ山高し」のとえがありますが、危険や痛みにおびえず、立ち向かっていくチャレンジ精神こそが、この不景気に打ち勝つ最良のクスリのような気がしてなりません。

そして、護送船団方式という仲間内のシステムが行き詰まり、企業も従業員も自らの将来をかけて、一層の自助努力が欠かせない時代に入ってきています。県としても、そういう取り組みを積極的にお手伝いしていく覚悟です。こんな時だからこそ、お互い元気を出して頑張りましょう。

SMILE ほほえみ 石川のボランティア

患者さんとスキンシップ

看護週間にちなむ「ふれあい看護体験」が五月十日から十六日まで、全国の病院や施設で行われ、石川県でも三十四カ所で行われ、実施されました。八年目の今年も、親子による参加が新たに加わり、医療現場への理解とともに、患者さんとのスキンシップの中から、助け合いと思いやりの心を育ててもらおうとの試みがスタートしました。



歩行訓練の手伝いは思ったよりも力が入ります。

ふれあい看護体験 今年から親子も参加 看護の心をみんなの心に



患者さんの手を洗い終えて、みんなでっこり。

について説明を受けた後、病室へ。看護婦さんのアドバイスを従って、患者さんの手足をぬれタオルでやさしくふいたり、本を読んであげたり、歩行訓練の手伝いをするなど、早速、実際の看護を体験しました。

健康を考えるきっかけにも

ふれあい看護体験は、一般の方や学生の参加も募っており、石川県看護協会では、「高齢化社会を迎え、看護はより身近な問題になります。みんなが、地域の中で弱い者をいたわったり、

自分の健康を考える機会にもなつてほしい」と話しています。この日、参加したお母さんにも「看護を通して、健康な時には気づかない多くのことを学びました。子どもは最初、緊張ぎみでしたが、患者さんから感謝され、それが喜びになったようです」と、声を弾ませていました。

【お問い合わせ】

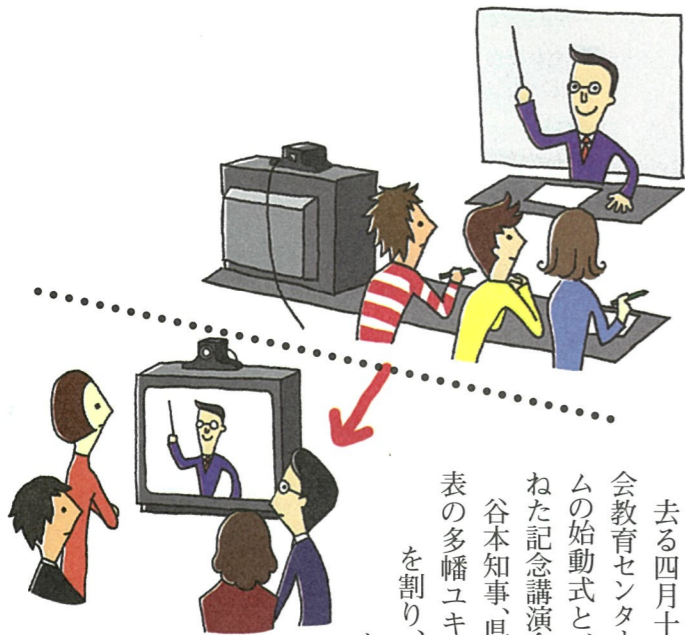
社団法人 石川県看護協会
☎076(232)3573
☎076(232)3973



ナースセンターでは看護の仕事について説明を受けました。

公民館のテレビ会議端末機で 県内各地の講演、公開講座を受講できる

いしかわ県民遠隔学習システム事業



県内全市町村の中央公民館等にテレビ会議端末機を設置

普段から、著名人の講演会や大学の公開講座を機会があれば聴講してみたいと思われている方も多いことでしょう。でも、そうした講演会や講座は、金沢を会場とするケースが多く、加賀や能登にお住まいの方にとっては、なかなか足を運びづらいのが実情だったと思います。

そこで石川県では、この問題を解消し、広く県民の生涯学習のお手伝いをするために「遠隔学習システム」を導入しました。

テレビドラマや映画などでよく見かける、テレビ会議システムを連想してください。遠隔学習システムは、カメラを内蔵したテレビ会議端末機を県内四十一市町村の中央公民館等に設置して、デジタル回線で映像、音声を送る仕組みになっています。例えば加賀の方、能登の方でも、公民館のテレビ会議端末機の前に座っていれば、金沢で行われている有名講師の講演や大学、短大などの公開講座をリアルタイムで受講することができるようになります。

各市町村の受講者の表情も端末機に映し出される

去る四月十一日、金沢市の県社会教育センターで遠隔学習システムの始動式と、そのお披露目を兼ねた記念講演会が開かれました。谷本知事、県民大学校受講者代表の多幡ユキ子さんがくす玉を割り、システムをスタートしました。同センター四階講堂の壇上に掲げたスクリーンには交信先の一つである根上町総合文化会館が映し出されました。

記念講演では

このほか、同システムは県が目標として掲げる広域交流ネットワークの形成にも大きな役割を果たすものと期待されています。というのも、端末機があればどの市町村からでも映像や音声の発信が可能であり、他の市町村との意見交換など、双方向メディアとして幅広く活用することができるようになります。

同システムはボランティアやサークルでの使用も可能です。使用については、県教育委員会生涯学習課（076-223-9404）または各市町村の教育委員会まで、お気軽にお問い合わせください。

広域交流ネットワークへの活用を期待

関西テレビアナウンサーの桑原征平さんが「ブラウン管から見た子どもたち。今の子ども・親に欠けるものは何か!」と題して、取材者の目を通して見た現代っ子の姿や子育て事情を講演しました。

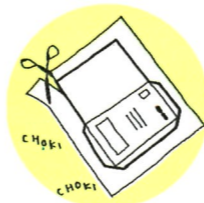
スクリーンには、各市町村の受講者が桑原さんの話の時には笑い、時には真剣な表情でうなずく姿が代わる代わる映し出され、遠隔学習システムの利便性の一端がうかがえました。



熱心に講演に聴き入る来場者



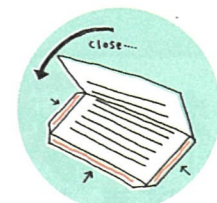
遠隔学習システムの始動を記念して開いた講演会



太線にそってハサミでチョコチョコ切り取ってみよう



切り離れた用紙にあなたの意見を書いたら...



宛名面を外側にして2つ折りし、のり付けて...



書いた手紙は切手を貼らずに、そのまま郵便ポストへ

いしかわ夢づくりレター ISHIKAWA "YUMEZUKURI" LETTER

〈わたしの意見〉

について

前略 石川県知事

のりしろ

のりしろ

のりしろ



●案内役

金沢市泉野出町
 おど 織田 泰範さん (団体職員)
 あまきこ 明子さん (主婦)
 たろう 太郎君 (11歳)



出土品を大きく拡大して見せてくれる「ミクロの考古学」



出土品を整理して保管する収蔵庫



埋蔵文化財センターの福島課長から出土品の説明を受ける3人



立体模型とマルチビジョンで県内の遺跡を紹介するサイバーミュージアム

施設ガイド

石川県埋蔵文化財センター

金沢市中戸町



本館



展示室

かきたてられる歴史へのロマン

石川県埋蔵文化財センターが今年四月、金沢市東部の山間地にオープンしました。県内の遺跡で発掘された出土品を整理・保存するとともに、郷土の歴史を県民に気軽に学んでいただける施設で、今回は、金沢市にお住まいの織田さん一家にガイドをお願いしました。

最新の展示機器でお迎え

皆さんは、埋蔵文化財からどんなイメージを持たれますか。地味に聞こえるかもしれませんが、発掘された出土品を調べることで、いつ、だれが、そこでどんな暮らしをしていたかを知るとても大切な手掛かりとなります。そして、新装なった埋蔵文化財センターの一番の特徴は、最新の機器を使った展示室を設け、一般の方にも広く開放している点です。

タッチパネルで遺跡を検索

小学校の授業で、ちょうど郷土の歴史を勉強中という太郎君は興味津々の表情で、泰範さん、明子さんとともに館内へ。同センター企画課の福島正実課長の案内で入った展示室で、まず目を引いたのは、県内に分布する遺跡の画像を映し出す九面のマルチビジョンです。「うわー。大きいー」。驚きの声を上げた太郎君は、手元にあるタッチパネルで早速、自分の見たい遺跡の検索を始めました。サイバーミュージアムの名前がつくこのマルチビジョ

30倍のズームアップに迫る

パネル上に並べた各種の遺物を、CCDカメラで三十倍に拡大してモニターに映す「ミクロの考古学」も、同センター展示室自慢の設備です。太郎君が操作すると、CCDカメラが上下左右に自在に動き、小さな遺物の表面をズームアップします。「こんなもので髪をといていたなんて」。モニター画面にアップになった弥生時代の竪櫛を見て、明子さんは思わず古代へのロマンをかきたて

「歴史体験公園」を計画中

展示室のある本館に隣接して建つ収蔵庫は、発掘調査の図面や写真、出土品を入れる棚がぎっしりと並んでいます。畳に直せば、優に二千五百枚を超える広さで、「約六万箱分の出土品を保管できる能力を持っています」との福島課長の説明に、泰範さんは「謎を一つずつ解きほぐしていく考古学の大変さが分かるような気がする」との感想。木々の緑など豊かな自然に囲まれた埋蔵文化財センターでは、十一、十二年度に、子どもたちが発掘調査や土器づくりなどに挑戦できる体験工房の設置や古代の建物を復元する「歴史体験公園」を整備する計画で、太郎君も「また、ぜひ来てみたい」と目を輝かせていました。

基地としての機能が充実

埋蔵文化財センターは、県内における遺跡発掘調査の基地ともなっています。県内から出土した遺物はここで丁寧に水洗いされ、出土地点の記入や寸法の測定、写真撮影などを行った後、保存されます。また、乾燥して崩壊する恐れのある木製品やさびて劣化する金属製品を保存するため、化学的な処理を施す部屋もあります。出土品を洗ったり、修復作業な

利用案内

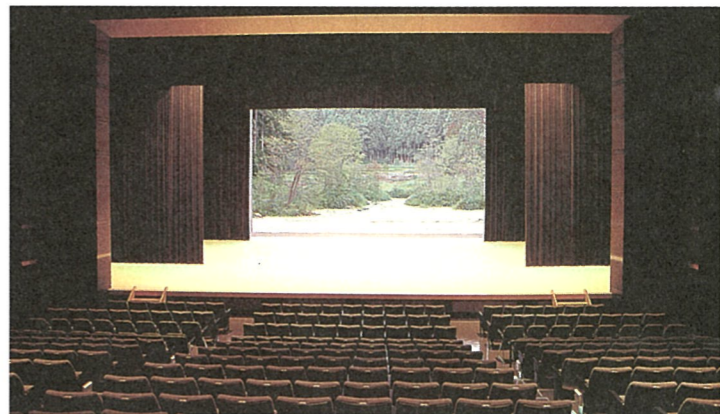
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 12月29日～1月3日 資料の展示替えまたは整理の期間
- 入場料 無料
- 交通案内
 - ・兼六園から車で約15分
 - ・北鉄バス 金沢駅発東部車庫行き末町バス停下車 徒歩約20分
- お問い合わせ (財)石川県埋蔵文化財センター 〒920-1336 金沢市中戸町18番地1 ☎076(229)4477 076(229)3731



資料で時代背景を確認

中島町

●'98能登中島演劇祭
無名塾をはじめ、地元劇団も公演



能登演劇堂

'98能登中島演劇祭
期間 8月17日～11月30日

- 中部地区高校演劇ワークショップ
- 8月17日～20日 / 入場無料(整理券)
- 金沢市立工業高校演劇部公演「橋山節考」
- 9月23日 / 入場無料(整理券)
- 松竹パフォーダンス公演「愛は謎の変奏曲」
- 10月1日～5日 / 6500円(一般)
- 劇団仲間公演「乞食と王子」
- 10月6日 / 入場無料(整理券)
- 劇団リトルバインシアター公演「ミュージカル「この思い、熱く!」
- 10月18日 / 入場無料(整理券)
- 劇団ふるさとやばん公演「ミュージカル「パパは家族の用心棒」
- 11月1日 / 4000円
- 町民劇団・方の会公演「湯田中まるか楼の女たち」
- 11月7日～8日 / 入場無料(整理券)
- 無名塾公演「わが町」
- 11月26日～29日 / 6500円(一般)

中島町に演劇専用劇場「能登演劇堂」がオープンしてから3年。今年も8月17日から11月30日にかけて、多彩なプログラムによる能登中島演劇祭が催されます。

今年の見どころは、松竹パフォーダンス「愛は謎の変奏曲」(10月1日～5日)と、無名塾公演「わが町」(11月26日～29日)で、「愛は謎の変奏曲」は、10年間孤島で独り暮らしを続けるノーベル賞作家と、彼を取材するローカル新聞記者の物語。出演は仲代達矢と風間杜夫。

その他、地元町民劇団の初公演作「湯田中まるか楼の女たち」(11月7日～8日)も見逃せない作品のひとつです。ぜひご来場ください。

【お問い合わせ】
能登演劇堂 / 鹿島郡中島町中島甲部130
☎0767(66)2323

田鶴浜町

●能越自動車道田鶴浜道路
中能登の新動脈が開通



能越自動車道田鶴浜道路

能登の新しい動脈としての役割が期待される「能越自動車道田鶴浜道路(延長6.9キロ)」が今年4月に開通しました。

この道路の完成により、能登有料道路徳田大津ICからの町内へのアクセスがスムーズになりました。また、国道249号七尾田鶴浜バイパスと直結したことにより、七尾市中心市街地や和倉温泉への通行も非常に便利になりました。

市町村トピックス

石川県には、41の市町村があり、それぞれ工夫を凝らした個性あるふるさとづくりを進めています。このコーナーでは、各市町村のタイムリーな話題や施設などを取り上げました。お住まいの市町村以外へも、ちよつと足をのばしてみませんか。

この道路をご利用になり、七尾西湾を一望できる「赤蔵山憩の森」その麓に湧き出る全国名水百選にも選ばれた「御手洗池」など、見どころ一杯の田鶴浜町へぜひお越し下さい。〈田鶴浜町産業振興課

☎0767(68)3131



田鶴浜道路利用料金
普通自動車・軽自動車 1000円
大型車 1500円 特大型車 3000円

【お問い合わせ】
県道路公社 ☎076(235)4560

エンジョイ サマー!! 夏の訪れが心を躍らせます。

根上町

●翠ヶ丘いこいの広場
夏を楽しむ
レクリエーションゾーン

根上町の総合レジャー施設「翠ヶ丘いこいの広場」は同町が薦めるこの夏一番のレジャースポットです。場内には多目的運動広場を中心に、ローラースケート場、バーベキューガーデン、テニスコート、キャンプ場、レストハウス、グラウンドゴルフ場が完備されており、夏の太陽を思いっきり満喫することが出来ます。

野外テーブルとカマドが各12基ずつ用意されているバーベキューガーデン(要予約)は、新鮮な食材が販売されているので、事前の準備も不要(※食材の持ち込みはお断りしています)。また、「根上グリーンビーチ」が広場から歩いて1～2分の距離にあり、キャンプ場で宿泊しながら海水浴などを楽しむアウトドアライフにはもってこいです。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



根上グリーンビーチ

●パークゴルフ場
みんなができる手軽なゴルフ

「パークゴルフ」は、通常のゴルフクラブより少し短いクラブ一本と、ゴルフボールより少し大きいボールを使ってプレーするゴルフ形式のスポーツで、「根上町パークゴルフ場」は県内で唯一、国際パークゴルフ協会公認の施設です。

パークゴルフはコース全体の距離が短いので、年齢や経験を問わず、だれでも気軽に楽しむことができます。

コースは黒マツ林に囲まれて涼しい風が心地よく、プレーと同時に森林浴も楽しむことができます。心と体のリフレッシュには、絶好のスペースと言えるでしょう。



パークゴルフ場

【お問い合わせ】
能美郡根上町道林町ハ23-1
☎0761(55)8900

利用時間 / 午前8時半～午後5時
定休日 / 火曜

利用期間 / 3月1日～12月25日
利用料金 / 18ホール 4400円
中学生以下 2200円
(用具貸出無料)

コース / はまなすコース18ホール
つじコース 18ホール



バーベキューガーデン

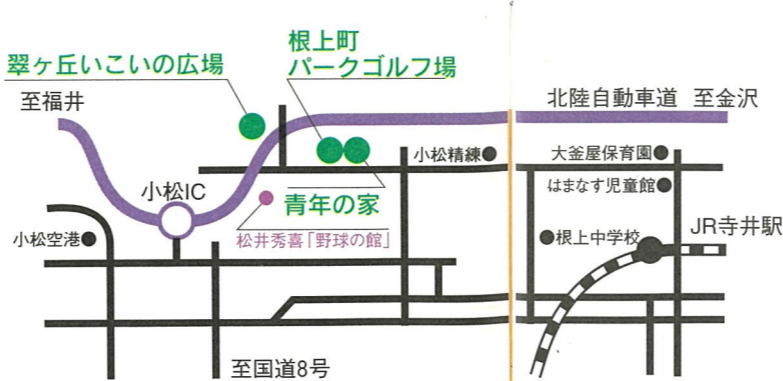
【お問い合わせ】
翠ヶ丘いこいの広場
能美郡根上町山口リ37-12

多目的運動公園、ローラースケート場、テニスコート、グラウンドゴルフ場、キャンプ場、海水浴場根上グリーンビーチ
☎0761(24)0092

広場内施設利用料
町内利用者…無料
町外利用者…テニスコート、グラウンドゴルフ、キャンプ場については若干の利用料をいただきますが、その他の施設は無料です。

バーベキューガーデン
レストハウス「オアシス」
☎0761(22)1005

注意…夏休み中は混雑が予想されますので、前もって空き状況をご確認ください。



●根上町立青年の家
たっぷり遊んでゆっくり休む

「根上町立青年の家」は、パークゴルフ場に隣接し、翠ヶ丘いこいの広場と根上グリーンビーチから車で約5分の距離です。町内はもとより町外の方にも開放されている公共の施設で、日帰りはもちろん、宿泊施設としての利用も可能。近くのレジャー施設で思いっきり遊んだ後、ここでゆっくり体を休めることができます。利用を希望される方は、あらかじめ電話でご予約・お問い合わせください。

【お問い合わせ】
能美郡根上町道林町ハ161
☎0761(55)3855

料 金

町内利用者
1泊2食 / 大学・一般 2310円
高校生以下 1980円

町外利用者
1泊2食 / 大学・一般 2410円
高校生以下 2090円

夏の休日を涼感あふれる スポットで過ごしてみませんか

夏の休日、子供さんに「どこかに連れて行って！」とせがまれるお父さん、お母さんが大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。今回は海の自然を楽しめる、暑い夏にぴったりの施設を紹介します。

能登の海の不思議を満喫！

【のと海洋ふれあいセンター】

青く美しい海に囲まれるようにして建つ「のと海洋ふれあいセンター」。九十九湾の特色ある生きものはじめ、能登の海について分かりやすく楽しく学べるスポットです。磯の観察路では色鮮やかなウミウシやヒトデ、さまざまな磯魚が間近で見られます。暑い夏のひととき、涼やかな海の自然と戯れましょう。



▲青空の下で食べるお弁当は、最高のごちそう。(のと海洋ふれあいセンター前)



イトマキヒトデ(左)とアカヒトデ(右)



▼海の生きものを間近で見られる磯の観察路

アオウミウシ



開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（祝日除く）

年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 高校生以上200円（中学生以下無料）

20人以上の団体160円

〒927-0552 珠洲郡内浦町越坂3の47番（九十九湾園地内）
TEL 0768-74-1919

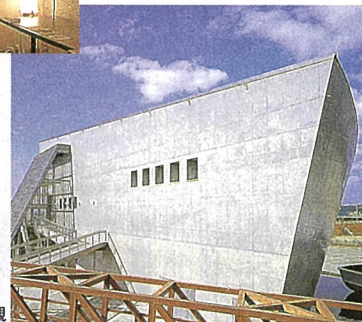
魚ってすごい!きつとそう思うはず

【石川県海洋漁業科学館】

海と魚のことをもっと知りたいという方におすすめなのがこの施設です。“魚の年齢、成長／観察コーナー”や、“魚と君のどっちが速いか？／魚と競走コーナー”など楽しみながら魚に関する知識が自然と身に付きます。また、食べるだけじゃない魚の利用法など、わたしたちが知らなかった新たな驚きがたくさん待っています。同館で一日過ごせば魚博士になったような気分になれそうです。



▲展示室では、イカ釣り漁やイカと魚の利用などについて、わかりやすく紹介しています。



海洋漁業科学館外観

開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（祝日除く）

年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 高校生以上 200円（中学生以下無料）

20人以上の団体 160円

〒927-0435 鳳至郡能都町字宇出津新港3丁目7番地
TEL 0768-62-4655

「県の広報」案内

新聞広報

「広報いしかわ」

北國新聞、北陸中日新聞、読売新聞（毎週水曜日）
朝日新聞、毎日新聞（年間5回〈随時〉）

テレビ広報

北陸放送「ほっと石川」

隔週日曜日・午前7時15分～7時30分
（うち年3回は午前7時～7時30分）

石川テレビ「ウィークリーいしかわ」

毎週日曜日・午後5時25分～5時30分

テレビ金沢「クイズふるさと再発見」

2週おきの日曜日・午前7時30分～8時

北陸朝日放送「石川ほっとニュース」

毎週土曜日・午後5時55分～6時

ラジオ広報

北陸放送「日本列島こころが真ん中」番組中

毎週火、金曜日・午後3時ごろ（3分間）

エフエム石川「素敵にモーニング」

毎週日曜日・午前9時55分～10時

インターネット

ホームページアドレス

<http://www.pref.ishikawa.jp/>

編集後記

● 今回の特集では、明日の石川の農業を支える元気な若手後継者の声を取り上げました。伝統を守りながらも、常に新しいことにチャレンジし、美味しさを追求している彼らの姿を見て、「石川ブランドは夢とチャレンジの結晶」だと感じました。

● 皆さまからのご意見を広く県政に反映させるため、「いしかわ夢づくりレター」をつくりました。「こんなことをしてほしい」「私ならこうする」など、皆さまのご提言・ご要望をお気軽にお寄せください。お待ちしております。